

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 28 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

| | | | | | |
|-----------------|----------------------------|-------------------------------------|------------|--|----------|
| 事業者の名称 (法人名) | 株式会社 サクラバイオ | | | | |
| 事業所の名称 (施設名) | 進路支援型放課後等デイサービス グッドジョブスクール | | | | |
| 事業所番号 | 4650101084 | | | | |
| 事業の種別 | 児童発達支援 | <input checked="" type="checkbox"/> | 放課後等デイサービス | | 保育所等訪問支援 |
| 事業所の所在地 | 鹿児島市泉町5-4 2階 | | | | |

2 公表状況

| | | |
|------|--|---|
| 公表日 | 令和 8 年 2 月 27 日 | |
| 公表方法 | 1. 方法の区分 (プルダウンから選択) | ホームページ ↓ 2 にURLを記載 |
| | 2. 内容 | https://goodjob.group/profile/#disclosure |
| | ※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。 | |

3 自己評価事務担当者情報

| | |
|-----------|--------------|
| 担当者名 | 杉山 亜里沙 |
| 連絡先 (TEL) | 099-800-5012 |

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------------|----|-------------|
| ○事業所名 | 進路支援型放課後等デイサービスグッジョブスクール | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 1月 13日 | ～ | 令和8年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 50 | (回答者数) 32 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 1月 13日 | ～ | 令和8年 2月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 2月 28日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | こどもの特性に応じた支援 | <ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムが固定化しないよう、毎日異なるプログラムを実施し、活動の質を維持しています。 職員の資質向上のため、毎月、法人内および外部講師による研修会を開催し、専門性の研鑽に努めています。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も定期的な研修を継続し、職員間での支援内容の共有や振り返りを徹底することで、支援の質のさらなる向上を目指しています。 |
| 2 | 保護者との情報共有と連携体制 | <ul style="list-style-type: none"> 支援の記録をオンライン上で公開しており、日々の支援の様子を保護者がリアルタイムで確認・共有できる仕組みを構築しています。 ホームページやSNS、定期的な通信の発行を通じて、活動概要や行事予定、連絡体制を積極的に発信しています。 支援開始前後の職員間打合せを徹底し、役割分担や振り返りを行うことで、一貫性のある情報伝達を意識しています。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者が困りごとの相談をより気軽にできる機会を創出していくことを課題として挙げています。また、現在は十分ではない「きょうだい支援」についても、今後の検討材料としています。 |
| 3 | こどもの自律性を促す構造化された環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 4つの個室を完備しており、こどもが自分の居場所を自己選択できる環境を整えています。 活動内容や利用者の状況に応じて教室を使い分けるなど、こどもに分かりやすく構造化された環境づくりを意識しています。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所が2階にあり階段があるため、現時点ではバリアフリー化が十分ではありませんが、情報伝達等のソフト面での配慮を含め、障害特性に応じた環境改善を継続的に検討しています。 地域に開かれた運営を目指し、子ども食堂との連携など、地域のこどもと活動する機会の提供をさらに増やしていく計画です。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 物理的なバリアフリー化の未整備 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所が建物の2階に位置しており、階段を利用する必要があるため。 | <ul style="list-style-type: none"> 設備面の即時改善は困難ですが、情報伝達などのソフト面での配慮を適切に行うことで補うよう努めていきます。 障害の特性に応じた環境上の配慮について、引き続き改善策を検討していく必要があります。 |
| 2 | 地域交流および「きょうだい支援」の不足 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートにおいて「地域の他のこどもと活動する機会」や「きょうだいへの支援」に関する肯定的な回答が他項目に比べて少なく、交流の場やイベントの提供が不足している現状がある。 事業所側も、きょうだい同士の交流の場を提供できていないことを認識しています。 | <ul style="list-style-type: none"> 「子ども食堂」との連携などを通じて、地域のこどもと活動する機会を提供したいと考えています。 保護者同士の交流支援に加え、きょうだい向けのイベント開催など、家族全体を支えるプログラムも検討します。 |
| 3 | 安全計画や非常時マニュアルの周知不足 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでは、事故防止マニュアルや安全確保の計画について「わからない」との回答が一定数ある。 事業所内での掲示は行っているものの、家族への直接的な周知が不足していることが要因。 また、身体拘束に関する具体的な規定や保護者への案内も、現在はまだ準備段階にある。 | <ul style="list-style-type: none"> 安全計画に基づく取り組み内容について、掲示だけでなく、連絡帳や書面等を通じて家族へ積極的に周知していきます。 やむを得ず身体拘束を行う場合の組織的決定プロセスを確立し、保護者へ事前十分な説明を行い、了解を得る体制を早急に整えていきます。 保護者が困りごとの相談を気軽にできる機会を増やすことで、安全面を含めた相互理解を深める工夫も進めたいと考えています。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 進路支援型放課後等デイサービスグッジョブスクール

公表日 令和8年 2月 28日

利用児童数 50

回収数 32

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|-----|------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 28 | 1 | | 3 | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 24 | 1 | | 7 | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 21 | 3 | 2 | 6 | | 2階に事業所があり、バリアフリーには対応できていません。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 31 | | | 1 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 29 | 1 | | 2 | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 28 | 1 | | 3 | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 29 | 2 | | 1 | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 27 | 1 | | 4 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 28 | | | 4 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 28 | 2 | | 2 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 9 | 4 | 4 | 15 | | 子ども食堂との連携など、地域の子どもと活動する機会を提供しています。 |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 30 | 1 | | 1 | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 27 | 1 | 1 | 3 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 20 | 5 | | 7 | | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 26 | 3 | 1 | 2 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 22 | 3 | 3 | 4 | | 困りごとの相談を気軽にできる機会をつくってまいります。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|----|--|--|
| 保護者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 28 | 2 | | 2 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 17 | 6 | 3 | 6 | | |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 28 | 1 | | 3 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 30 | | | 2 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 24 | 1 | 1 | 6 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 24 | 3 | | 5 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 15 | 4 | | 13 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 21 | 2 | | 9 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 19 | 3 | | 10 | | |
| | 26 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 23 | 2 | | 7 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 28 | 3 | | 1 | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 28 | 3 | | 1 | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 28 | 3 | | 1 | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 進路支援型放課後等デイサービスグッドジョブスクール | | | | 公表日 | 令和8年 2月 28日 |
|---------|--------|---|-----------------------|-----------------------|--------------------------------|-----|-----------------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | <input type="radio"/> | | | 階段があり、バリアフリーに対応していない。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | 利用者のようすや、活動内容に応じて教室を使い分けている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | 個室が4つあり、こどもが居場所を選択できるようになっている。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | 毎日、職員間で情報を共有している。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | <input type="radio"/> | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | 毎月法人内・外部講師による研修会を行っている。 | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | | | |

適切な支援の提供

| | | | | | |
|----|--|-----------------------|-----------------------|-------------------------|--|
| 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | <input type="radio"/> | | 毎月法人内・外部講師による研修会を行っている。 | |
| 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | <input type="radio"/> | | 毎日異なるプログラムを実施している。 | |
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | <input type="radio"/> | | 医療・学校との連携を行っている。 | |
| 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | <input type="radio"/> | | |
| 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | | <input type="radio"/> | | |
| 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | <input type="radio"/> | | |

関係機関や保護者との連携

| | | | | | | |
|----------|----|--|---------------------------------------|---|--------------------------------|-------------------------|
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | | ○ | | |
| | 34 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 記録をオンライン上で公開し、日々の支援の様子を共有している。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | | きょうだい同士での交流の場は提供できていない。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | |
| | | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |

| | | | | | | |
|---|----|--|---|---|--|-------------------------------------|
| 応 | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | ○ | | 事業所で掲示をしているが、家族への周知は不足している。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | | ○ | | 拘束に対しての具体的なものや、保護者への案内はまだ準備段階と考えます。 |